

平成27年国勢調査有識者会議（第3回） 議 事 要 旨

1. 日 時 平成26年3月14日（月）16：00～18：00
2. 場 所 総務省第二庁舎6階特別会議室
3. 出席者
構 成 員：堀部政男座長，太田真嗣委員，大林千一委員，菅幹雄委員，萩原雅之委員，坂東眞理子委員，廣松毅委員
オブザーバー：宮内和宏東京都総務局統計部人口統計課長
今井圭巖岐阜市企画部統計分析課長
田村光大阪市都市計画局企画振興部統計調査担当課長
総 務 省：會田統計調査部長，佐伯総務課長，井上調査企画課長，岩佐国勢統計課長，村田国勢統計課調査官，小松崎国勢統計課環境整備企画官 他
4. 議 事
 - (1) 平成27年国勢調査第3次試験調査の実施計画について
 - (2) 平成27年国勢調査の実施計画（案）について
 - (3) 平成27年国勢調査における集計・提供の考え方及び集計体系（案）について
 - (4) 平成27年国勢調査オンライン調査システムについて
 - (5) 平成27年国勢調査の広報・環境整備について
 - (6) 国勢調査と住民基本台帳等について
 - (7) その他
5. 配布資料
 - 資料1－1 平成27年国勢調査第3次試験調査の概要
 - 資料1－2 平成27年国勢調査第3次試験調査 実施計画
 - 資料2－1 平成27年国勢調査の要綱（骨子案）について
 - 資料2－2 平成27年国勢調査実施計画（案）
 - 資料3－1 平成27年国勢調査における集計・提供の考え方（案）
 - 資料3－2 平成27年国勢調査人口移動集計における東日本大震災の影響の把握について
 - 資料4 平成27年国勢調査オンライン調査システムについて
 - 資料5 平成27年国勢調査の広報・環境整備の取組について
 - 資料6 国勢調査と住民基本台帳等について
 - 参考 平成27年国勢調査有識者会議（第2回） 議事要旨
6. 議事要旨
 - 事務局から資料に基づいて説明を行い，その後，意見交換が行われた。
 - 平成27年国勢調査実施計画（案）については，一部修正意見を反映した上で，有識者会議として了承された。

【主な意見】

◆ 平成27年国勢調査実施計画（案）について

- 今回の調査では、インターネットや郵送による提出状況を実査段階において「提出状況管理システム」により把握できるが、その次の平成32年調査の参考となるので、最終的に世帯から調査票がどのような方法で提出されたかを記録しておくことが重要。地域によって提出方法に差がみられるなど、調査方法の一つの検討材料になり得るのではないか。
- 平成27年国勢調査実施計画（案）の「国勢調査の基本的役割」で、人口学・経済学・社会学など研究機関における利用が述べられているが、最近はGISなどでも多く利用されていることから「地理学」についても追加してはどうか。
- 今回調査ではオンライン調査を全国で導入することになるが、市区町村では財政的な面において力関係の格差が広がっている。比較的大規模な自治体であれば大丈夫だと思うが、小規模な自治体がきちんとついて来ることができるよう、画一的な取組ではないきめ細やかな事務のサポートが必要。
⇒ 今回調査では国勢調査業務に関する情報を集約した「業務ポータル」を立ち上げて、すべての自治体が事務の進ちょく状況を把握できるような仕組みを検討しているところ。

以 上

<文責：事務局（今後、修正することがあり得ます。）>